

4 年前に『日本内視鏡外科学会雑誌』の編集委員にさせていただいた。その頃と比べると編集会議も大きく様変わりしてきた。4 年前は医学書院に編集委員全員が集まって編集会議を開催していた。遠方の先生方は会議時間よりも、移動時間のほうが長くなってしまっていたため、1 年ほど前から Web で参加と変化していた。現在、コロナウイルス感染拡大の状況下であり、全員が Web での参加になっている。査読するデータはすべて紙ベースで郵送されてきていたが、これも 2 年前からは PDF ファイルの形式で e-mail で送られてくるようになった。パソコンがあればいつでも査読できるので便利である。2019 年 1 月号から電子版のみとなったが、写真はカラーとなり見やすくなった。いち個人読者としては電子化になって良かったことのほうが多いが、冊子が送られてくることで新刊が出たことに気づき、パラパラ眺めていたので、その点はデメリットである。新刊が出たことを知らせる会員メールから、ポチッと電子版を眺めることができればさらに便利になるのと思っている。この点は上申したい。このように編集会議も変化し、あの赤い雑誌が送られてこなくなってそろそろ 2 年である。『日本内視鏡外科学会雑誌』の表紙は赤であることを知らない会員の先生が出てくるのかもしれない。編集会議の形態は変われど、「読者にとって有意義な情報であるか」の査読基準は変わることなく審査しております。

本誌の原稿様式は、原著、総説、症例報告、手術手技、私の工夫、短報の 6 つのカテゴリーに分けられています。送られてくる原稿はほとんどが「症例報告」ですが、これは重要なことだと思っています。医学の進歩は「症例報告」からです。症例の現象を正確に記述し、報告することは非常に重要です。手術内容を正確に記述することで、手術をより深く理解することができ、「手術手技」や「私の工夫」につながると思います。また、症例報告は仮説の形成に不可欠です。その仮説を証明することができれば、「原著」になります。

皆様によりいっそう有意義な内容を届けられるように努力してまいります。そのためにも多くの論文投稿をお願い申し上げます。

(寺尾泰久)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 26 巻 第 1 号) 2021 年 1 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1 部) 価格: 3,080 円 (本体 2,800 円 + 税 10%)

2021 年 年間購読料: 18,018 円 (税込) * 学会員は学会ホームページから閲覧できます。

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 坂井義治)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses @ convention.co.jp (担当: 池田, 平澤, 渡部)

http://www.jses.or.jp

発売: (株)医学書院 (代表: 金原 俊) (本誌担当: 水野, 安部)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

電子出版コード 260F2600026001000000

- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は日本内視鏡外科学会が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・JCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

●原著

前立腺癌に対するロボット支援下と非ロボット支援下根治的前立腺全摘術後の
傾向スコアマッチング法を用いた生化学的非再発生存率についての比較検討

..... 木村博子・他 京都大学大学院医学研究科泌尿器科学講座

●症例報告

小児特発性腸間膜血腫に対し腹腔鏡下血腫除去術を施行した 1 例 高見尚平・他 東京大学医学部附属病院小児外科
腹腔鏡下 Ladd 手術で治療しえた成人腸回転異常症の 1 例 水田憲利・他 明石医療センター外科
解剖学的変異を伴う完全内臓逆位の胆石性胆嚢炎に対して

腹腔鏡下胆嚢摘出術を行った 1 例 美並輝也・他 福井県済生会病院外科
LECS にて切除した胃・胃重積を生じた胃穹隆部 GIST の 1 例 海野良介・他 虎の門病院消化器外科
体腔内再建が有用であった左骨盤腎を伴う下行結腸癌の 1 例 岡田俊裕・他 公立甲賀病院外科
転倒による鼠径ヘルニア嚢内小腸穿孔に対し腹腔鏡補助下に

縫合閉鎖した 1 例 小林陽介・他 東京都済生会中央病院一般・消化器外科
径 96 mm の食道 GIST に対して胸腔鏡・腹腔鏡併用下に切除した 1 例 木下博之・他 公立那賀病院外科
大腿部の Littre ヘルニア嵌頓に対し腹腔鏡補助下大腿ヘルニア修復術を

行った 1 例 保坂優斗・他 鹿児島県立薩南病院外科
人工肛門造設部位を用いた単孔式腹腔鏡下人工肛門閉鎖術：バリウムによる

S 状結腸穿通術後の 1 例 塩井義裕・他 岩手県立千厩病院外科
腹腔鏡下に修復し一期的に単孔式 TEP 法に準じて修復を行った鼠径ヘルニア偽還納
の 1 例 門 威志・他 大阪警察病院外科

●特別寄稿

我が国における内視鏡外科修練に関する全国調査報告

—日本内視鏡外科学会卒後 10 年目以下会員対象アンケート調査

..... 倉島 庸・他 北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室 II

誌面の都合により変更がある場合があります。あらかじめご諒承ください。